

## 平成30年度 高額レセプト上位の概要

健保連では、高額な医療費の発生が個々の健康保険組合財政に及ぼす影響を全組合拠出の財源により緩和するため、健康保険法附則第2条に基づき、『高額医療交付金交付事業』を実施している。

平成30年度（30年1月16日から31年1月15日）に申請された医療費のうち、1ヵ月の医療費が1,000万円以上の件数は、前年度より196件増加（対前年度比36.8%増）の728件で過去最多となり、初めて700件を超えた。

そのうち、2,000万円以上の件数は、対前年度比10件増（14%増）の82件で過去最多を更新した。

5,000万円以上の件数は、29年度は1件だったのに対し、30年度は2件だった。

○上位100件\*を疾患別にみると、循環器系疾患が48件で最多となり、血液疾患14件、先天性疾患1件、悪性腫瘍0件、その他37件だった。

○上位100件\*の疾患別件数を前年度と比較すると、循環器系疾患は7件増（17%増）、血液疾患は9件減（39%減）、先天性疾患は4件減（80%減）、悪性腫瘍は1件減（100%減）、その他は7件増（23%増）となった。

\*28年度分から、月額医療費、主傷病名、疾患別の傾向等詳細なとりまとめについては上位100件までとした。

連絡先：健康保険組合連合会  
組合支援事業部  
高額医療グループ  
TEL 03-3403-0557

注:主傷病名欄の( )は調剤レセプト

図表1 1,000万円以上高額レセプト上位100位(平成30年度)

(単位:円)

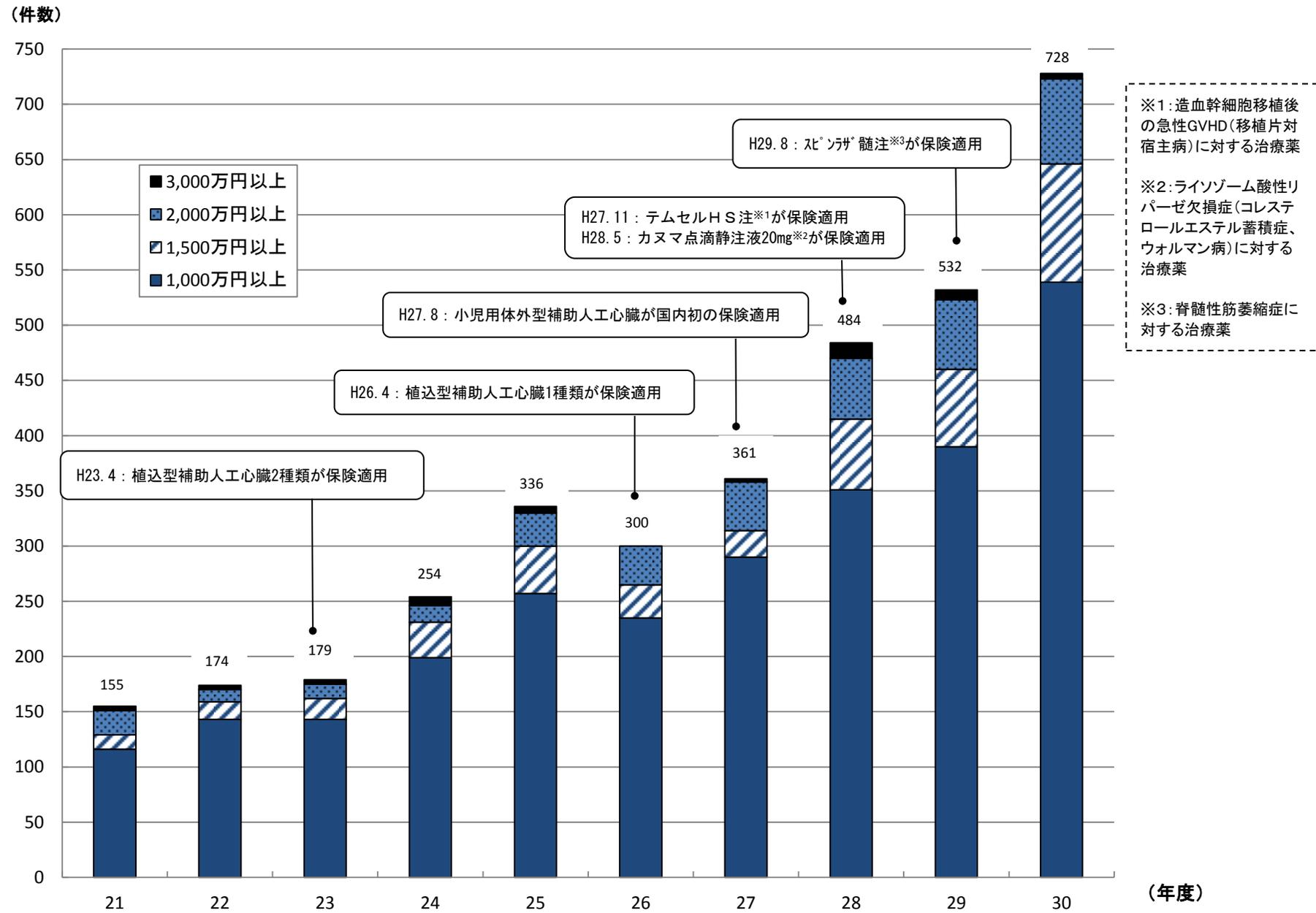
順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名
1	90,581,510	血友病A	26	26,010,390	特発性拡張型心筋症	51	23,774,440	血友病A	74	20,456,870	コレステロールエステル蓄積症
2	56,250,470	血友病A	27	25,841,810	GVHD・同種造血肝細胞移植後	52	23,760,030	特発性拡張型心筋症	74	20,456,870	コレステロールエステル蓄積症
3	30,917,610	血友病B	28	25,809,810	特発性拡張型心筋症	53	23,682,860	特発性拡張型心筋症	78	20,439,200	特発性拡張型心筋症
4	30,681,790	コレステロールエステル蓄積症	29	25,414,880	特発性拡張型心筋症	54	23,462,720	うっ血性心不全	79	20,370,230	両下肢・両上肢3度熱傷
5	30,485,250	特発性拡張型心筋症	30	25,335,940	特発性拡張型心筋症	55	23,297,140	劇症型心筋炎	80	20,338,960	GVHD・同種造血肝細胞移植後
6	29,885,080	高フェニルアラニン血症	31	25,333,580	修正大血管転位	56	23,268,850	ドライブライン感染	81	20,123,590	脊髄性筋萎縮症
7	29,883,500	高フェニルアラニン血症	32	25,333,440	血友病B	57	23,223,910	(高フェニルアラニン血症)	82	20,077,570	(高フェニルアラニン血症)
8	29,855,510	(高フェニルアラニン血症)	33	25,332,740	特発性拡張型心筋症	58	23,168,580	完全型房室中隔欠損症	83	19,966,880	脊髄性筋萎縮症
9	28,890,150	特発性拡張型心筋症	34	25,262,710	虚血性心筋症	59	23,046,030	特発性拡張型心筋症	84	19,942,960	BH4反応性高フェニルアラニン血症
10	28,573,910	特発性拡張型心筋症	35	25,202,250	カンジタ菌血症	60	22,953,240	拘束型心筋症	85	19,912,910	(高フェニルアラニン血症)
11	28,541,730	特発性拡張型心筋症	36	25,144,600	特発性拡張型心筋症	61	22,668,290	特発性拡張型心筋症	86	19,906,990	(高フェニルアラニン血症)
12	27,603,870	BH4反応性高フェニルアラニン血症	37	25,123,380	左心不全	62	22,603,580	(血友病B)	87	19,891,220	脊髄性筋萎縮症
13	27,354,370	肥大型心筋症	38	25,081,760	特発性拡張型心筋症	63	22,442,530	特発性拡張型心筋症	88	19,881,270	BH4反応性高フェニルアラニン血症
14	27,214,700	血友病B	39	24,938,740	特発性拡張型心筋症	64	22,192,580	拡張相肥大型心筋症	89	19,878,590	BH4反応性高フェニルアラニン血症
15	27,171,140	(特発性肺動脈性肺高血圧症)	40	24,829,130	血友病B	65	21,316,430	特発性拡張型心筋症	90	19,867,360	BH4反応性高フェニルアラニン血症
16	27,068,800	特発性拡張型心筋症	41	24,824,740	うっ血性心不全	66	21,147,150	特発性拡張型心筋症	91	19,867,060	BH4反応性高フェニルアラニン血症
17	27,020,250	特発性拡張型心筋症	42	24,816,260	血友病B	67	20,995,060	GVHD・同種造血肝細胞移植後	92	19,865,920	(高フェニルアラニン血症)
18	26,858,520	虚血性心筋症	43	24,814,060	血友病B	68	20,855,960	血友病B	93	19,859,320	BH4反応性高フェニルアラニン血症
19	26,605,020	心サルコイドーシス	44	24,618,790	特発性拡張型心筋症	69	20,760,210	肥大型心筋症	94	19,856,440	(高フェニルアラニン血症)
20	26,578,130	拡張相肥大型心筋症	45	24,585,640	特発性拡張型心筋症	70	20,646,010	急性心筋梗塞	95	19,820,770	脊髄性筋萎縮症
21	26,505,500	(高フェニルアラニン血症)	46	24,479,770	特発性拡張型心筋症	71	20,554,700	特発性肺動脈性肺高血圧症	96	19,448,770	脊髄性筋萎縮症
22	26,490,690	(高フェニルアラニン血症)	47	24,323,570	慢性心不全	72	20,459,450	コレステロールエステル蓄積症	97	19,441,400	脊髄性筋萎縮症
23	26,333,850	特発性拡張型心筋症	48	24,059,920	血友病A	73	20,456,950	コレステロールエステル蓄積症	98	19,334,790	解離性胸部大動脈瘤
24	26,165,780	血友病B	49	23,944,930	特発性拡張型心筋症	74	20,456,870	コレステロールエステル蓄積症	99	19,330,670	脊髄性筋萎縮症
25	26,127,970	特発性拡張型心筋症	50	23,838,290	ドライブライン感染	74	20,456,870	コレステロールエステル蓄積症	100	19,282,340	血友病A

図表2 1,000万円以上高額レセプトの件数と最高金額等

年度	件数	最高金額	主傷病名
平成 11 年	90 件	21,035,660 円	血友病A
〃 12 年	98 件	19,514,290 円	拡張型心筋症
〃 13 年	106 件	22,561,810 円	急性膵壊死
〃 14 年	81 件	40,073,310 円	血友病A
〃 15 年	101 件	29,859,940 円	大動脈解離
〃 16 年	89 件	23,893,270 円	血友病A
〃 17 年	115 件	34,953,330 円	血友病A
〃 18 年	116 件	23,567,750 円	骨肉腫
〃 19 年	140 件	37,629,030 円	血友病
〃 20 年	134 件	28,416,300 円	血友病B

年度	件数	最高金額	主傷病名
平成 21 年	155 件	38,280,620 円	血友病B
〃 22 年	174 件	46,392,680 円	血友病B
〃 23 年	179 件	115,504,940 円	血友病A
〃 24 年	254 件	84,811,650 円	血友病A
〃 25 年	336 件	62,212,360 円	血友病A
〃 26 年	300 件	29,917,200 円	肥大型心筋症
〃 27 年	361 件	42,530,080 円	血友病A
〃 28 年	484 件	106,941,690 円	フォンウィルブランド病
〃 29 年	532 件	79,157,950 円	血友病A
〃 30 年	728 件	90,581,510 円	血友病A

図表3 過去10年の1,000万円以上高額レセプトの件数の年次推移

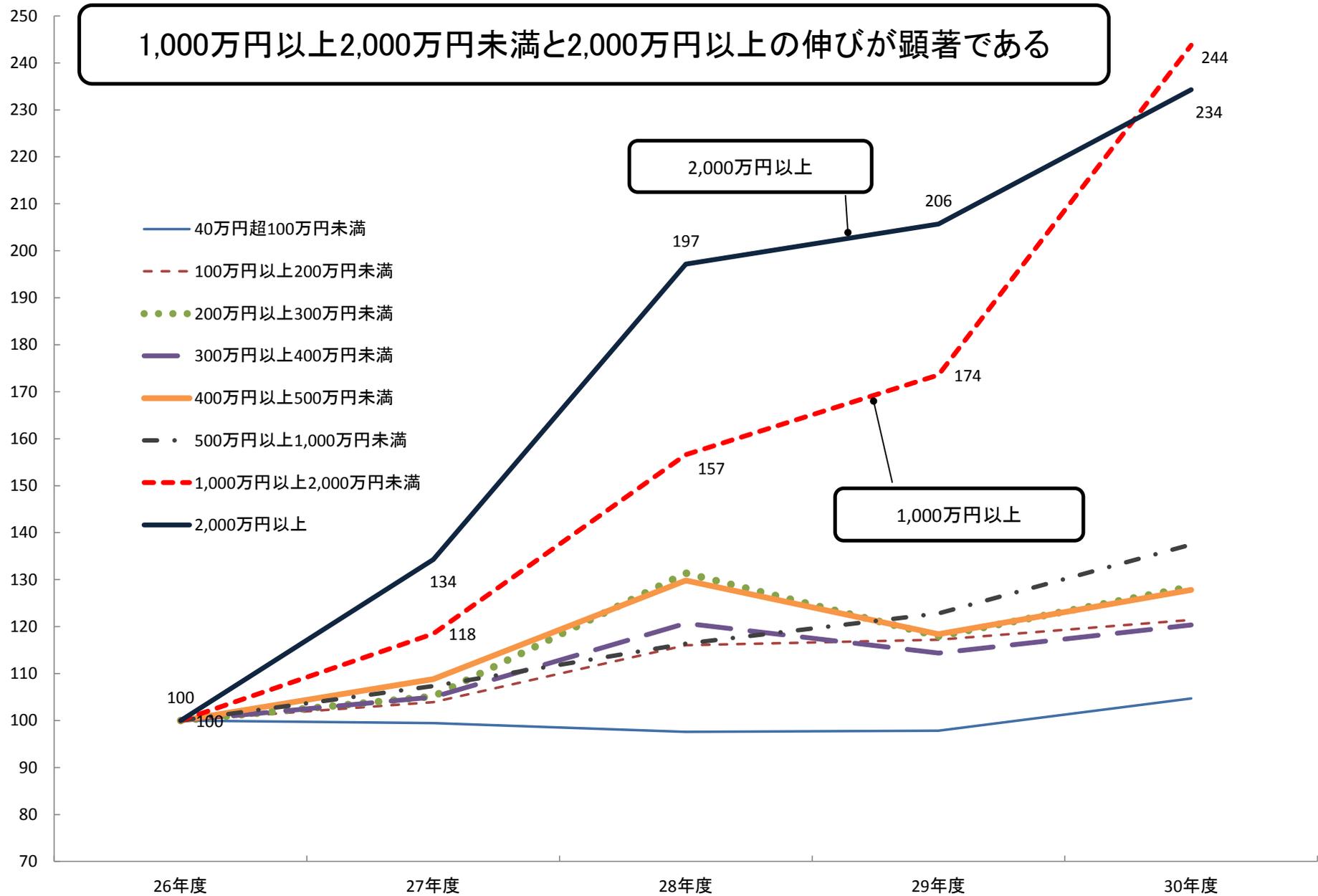


図表4 高額医療交付金交付事業における金額階級別交付件数の推移

金額階級		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
40万円超 100万円未満	件数	92,306	91,800	90,081	90,325	96,636
	指数	100	99	98	98	105
	対前年度比		-0.55%	-1.87%	0.27%	6.99%
	構成割合	33.0%	31.9%	28.6%	29.1%	29.4%
100万円以上 200万円未満	件数	125,522	130,412	145,614	147,152	152,438
	指数	100	104	116	117	121
	対前年度比		3.90%	11.66%	1.06%	3.59%
	構成割合	44.8%	45.3%	46.2%	47.4%	46.4%
200万円以上 300万円未満	件数	38,352	40,320	50,381	45,238	49,271
	指数	100	105	131	118	128
	対前年度比		5.13%	24.95%	-10.21%	8.92%
	構成割合	13.7%	14.0%	16.0%	14.6%	15.0%
300万円以上 400万円未満	件数	13,015	13,664	15,705	14,886	15,665
	指数	100	105	121	114	120
	対前年度比		4.99%	14.94%	-5.21%	5.23%
	構成割合	4.6%	4.7%	5.0%	4.8%	4.8%
400万円以上 500万円未満	件数	5,460	5,941	7,087	6,464	6,979
	指数	100	109	130	118	128
	対前年度比		8.81%	19.29%	-8.79%	7.97%
	構成割合	2.0%	2.1%	2.2%	2.1%	2.1%
500万円以上 1,000万円未満	件数	4,970	5,335	5,784	6,104	6,832
	指数	100	107	116	123	137
	対前年度比		7.34%	8.42%	5.53%	11.93%
	構成割合	1.8%	1.9%	1.8%	2.0%	2.1%
1,000万円以上 2,000万円未満	件数	265	314	415	460	646
	指数	100	118	157	174	244
	対前年度比		18.49%	32.17%	10.84%	40.43%
	構成割合	0.09%	0.11%	0.13%	0.15%	0.20%
2,000万円以上	件数	35	47	69	72	82
	指数	100	134	197	206	234
	対前年度比		34.29%	46.81%	4.35%	13.89%
	構成割合	0.013%	0.016%	0.022%	0.023%	0.025%
合計	件数	279,925	287,833	315,136	310,701	328,549
	指数	100	103	113	111	117
	対前年度比		2.83%	9.49%	-1.41%	5.74%

(注) 指数は、平成26年度を100とした伸び率である。

図表5 金額階級別交付件数の推移



(注)平成26年度を「100」とした伸び率の推移である。

# 高額医療交付金の交付の仕組み

## 1. 高額医療交付金の交付基準

- レセプト1件あたりの決定金額が下記の交付基準額を超える場合に交付対象とし、財源との見合いにより、①+②となる交付対象額に、交付率を乗じて交付決定額とする。
- ただし、400万円超部分には交付率を乗じず、100%交付とする。

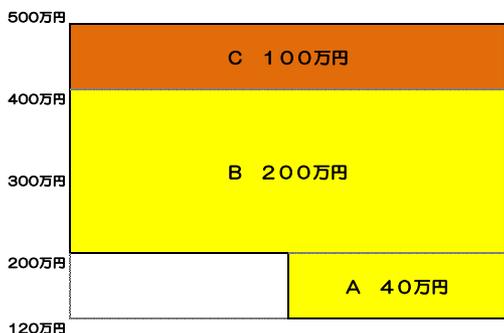
対象額 ①+②  $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} = \text{交付基準額を超えて200万円以下の部分は2分の1 (図A部分)} \\ \text{②} = \text{200万円超の部分は1分の1 (図B・C部分)} \end{array} \right.$

### 1) 一般疾病の場合 (交付基準額120万円超)

- ① 120万円超200万円以下の部分 (A) = 2分の1
- ② 200万円超の部分 (B+C) = 1分の1

例) 500万円のレセプトの場合

交付対象額 (①+②) = 40万円 + 300万円 = 340万円



400万円以下部分 (A+B) = 240万円 ← 交付率乗じる  
400万円超部分 (C) = 100万円 ← 交付率を乗じない

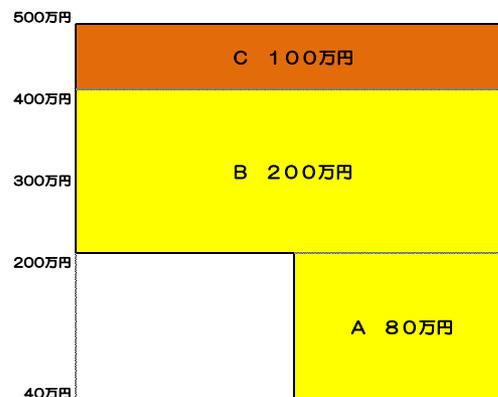
交付決定額 = 240万円 × 交付率 + 100万円

### 2) 特定疾病の場合 (交付基準額40万円超)

- ① 40万円超200万円以下の部分 (A) = 2分の1
- ② 200万円超の部分 (B+C) = 1分の1

例) 500万円のレセプトの場合

交付対象額 (①+②) = 80万円 + 300万円 = 380万円



400万円以下部分 (A+B) = 280万円 ← 交付率乗じる  
400万円超部分 (C) = 100万円 ← 交付率を乗じない

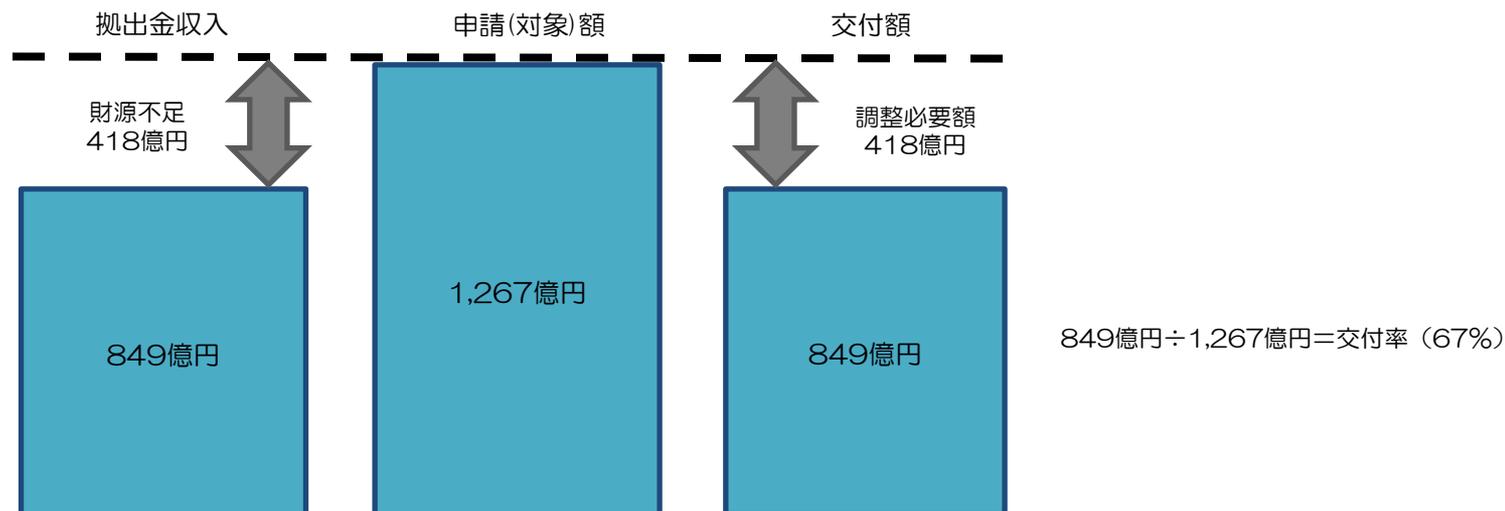
交付決定額 = 280万円 × 交付率 + 100万円

※特定疾病：人工腎臓実施慢性腎不全、血漿分画製剤投与の先天性血液凝固第Ⅷ因子障害又は先天性血液凝固第Ⅸ因子障害、抗ウイルス剤投与の後天性免疫不全症候群（HIV感染を含み厚生労働大臣の定める者）

## 2. 高額医療交付金の交付率

- 高額医療交付金は、財源である財政調整事業拠出金収入の範囲内で交付決定を行う。
- 下記イメージのように、財源を超える申請があった場合、財源不足分を調整するための交付率を算出する。
- なお、400万円超部分の交付率は、100%としている。

【図】 高額医療交付金の交付率の考え方（イメージ）



# 『高額医療交付金交付事業』の概要

## 1. 事業の目的

『高額医療交付金交付事業』は健康保険法附則第2条に規定する法定事業（交付金交付事業）で、高額な医療費が発生した健康保険組合への財政的な影響を緩和するために行っている。

## 2. 財源

各健康保険組合が被保険者から徴収した調整保険料は健保連へ拠出され、交付金交付事業（『高額医療交付金交付事業』、及び『組合財政支援交付金交付事業』）の財源となる。交付金交付事業の事業規模は千分の1.3と定められ（厚生労働大臣告示）、このうち千分の1.0相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.3相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源に充てている。ただし、28年度から、千分の1.1相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.2相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源とした。なお、30年度の『高額医療交付金交付事業』の財源は約1,019億円（単年度収入）である。

## 3. 30年度の交付対象

30年1月16日から31年1月15日までの間に申請されたレセプト1件の月額医療費のうち、交付基準額（一般疾病は120万円、特定疾病（※）は40万円）を超えた部分を交付対象とする（そのうち30年度事業分は29年11月から30年10月診療分のレセプト）。

なお、30年度の交付申請組合数は1,372組合、交付対象件数は328,549件、交付対象総額は約1,586億円（30年度の交付率は60%、交付額は約1,065億円）。

※ 特定疾病とは、長期にわたって高額な医療費を要するとして厚生労働大臣が指定した次の疾病である。

- 1.人工腎臓を実施している慢性腎不全
- 2.血友病（血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ因子障害または先天性血液凝固第Ⅸ因子障害）
- 3.抗ウイルス剤を投与している後天性免疫不全症候群（HIV感染を含み、厚生労働大臣の定める者に係るものに限る）